

JUNBA2008 –2025年の知財を見つめて–

JUNBA: サンフランシスコベイエリア大学間連携ネットワーク

The 2nd JUNBA Summit, Symposium and Technology Fair / 1月10–11日
Hyatt Regency Santa Clara, California, USA

主催: JUNBA(Japanese University Network in the Bay Area)

共催: 在サンフランシスコ日本国総領事館、日本学術振興会(JSPS)、JETRO サンフランシスコ

JUNBA: 米国内に拠点を持つ日本の大学間の連携を図り、日本の大学の国際化、国際的人材の養成、産学連携等の諸活動を支援、日本及び米国における教育・研究の発展と産業創出に寄与する事を目的として、学術集会などを含む各種催し物の開催、連絡会議やホームページ等による情報交換、その他様々な活動を行う組織。

メンバー: 東北大学、東京理科大学、横浜市立大学、大阪大学、九州大学、鹿児島大学の六大学

【九州大学参加概要】

サミット&シンポジウム: 梶山千里総長、小寺山亘理事、松尾正人 CA オフィス所長

テクノロジーフェア: システム情報科学研究所 古川浩准教授の MIMO-MESH 技術紹介

【JUNBA サミット: 1月10日 8:30–12:00】

名誉議長: 梶山総長

九州大学の国際産学官連携紹介: 小寺山理事

国際的産学官連携を推進するためのサミット参加大学の全学的国際戦略について幅広く議論。知的財産を広義にとらえた上で、産学官連携を全学的に効率良く行うためには、どのような戦略の下にこれら知的財産を活用していくのか、大学本来の使命である教育と研究の基本とどう関連付けていくのか、さらに、実際的な各大学の起業の実績と今後の見通しなど、2025年をターゲットにした各大学の国際的産学官連携戦略について議論を行った。九州大学はこれら

に付け加えて、独自におこなっている上海地域の省エネ事業、インドネシアでの産学連携を通じた大学活性化事業、東アジア環境問題事業、石炭の高効率利用事業などの紹介をして参加者に強いインパクトを与えた。



サミット名誉議長: 九州大学梶山総長



九州大学の国際産学官連携紹介: 小寺山理事



サミット・シンポジウム終了後の記念撮影

【JUNBA シンポジウム:1月10日 14:00－17:30】

各界のオピニオンリーダーの方々による国際産学官連携に関する講演
柘植綾夫 芝浦工業大学学長、西義雄 Stanford University 教授、
William Tucker, University of California Office of the President (UCOP) 他

【JUNBA テクノロジーフェア:1月11日 9:00－17:00】13大学による研究紹介

九州大学:MIMO-MESH プロジェクトの活動概要紹介、小型基地局装置(picoMesh 装置)展示 発表者:九州大学 システム情報科学研究所 古川浩 准教授

○概要:古川浩准教授の MESH プロトコル技術をコアとして進めている MIMO-MESH プロジェクトでは、ユビキタスブロードバンドモバイル通信実現のためのキーインフラ開発を行っている。具体的には、**掌に乗るくらい小型、ワイヤレスで、かつ高い中継回線容量を持つ無線 MESH ネットワークシステムを開発している**。今回のテクノロジーフェアでは、古川浩准教授が MIMO-MESH プロジェクトの活動概要、コア技術を報告、併せて展示ブースで今年度開発した試作品(picoMesh 装置)の展示を行った。尚、九州大学のテクノロジーフェア出展は MIMO-MESH プロジェクトにフォーカスしており、同業他社数社が来場、展示ブース前でのコミュニケーションも活発で、アライアンス等、次に繋がる成果があった。

* MIMO-MESH:大容量・伝送通信を実現する技術である MIMO (Multi-Input Multi-Output) 技術と広範囲のエリアをくまなくカバーする MESH ネットワーク技術を融合させることを目的としているので、プロジェクトでは、本名称を用いている。

* picoMesh 装置:手のひらサイズの屋内向け無線通信用小型基地局・中継局の呼称

* 本開発は、九州大学大学院システム情報科学研究所 古川浩准教授の MESH プロトコル技術をコアとし、文部科学省 知的クラスター創成事業の適用を受け、進められている。知的クラスター創成事業は、財団法人福岡県産業科学技術振興財団が中核機関となり福岡地区として採択されている。



九州大学システム情報科学研究所
古川浩准教授による MIMO-MESH プロジェクト紹介



九州大学の展示ブース



試作品:picoMesh 装置

<JUNBA プログラム>

【JUNBA 国際産学官連携サミット】—2025 年の知財を見つめて—

The 2nd JUNBA Summit, Symposium and Technology Fair

主催: JUNBA(Japanese University Network in the Bay Area)

共催: 在サンフランシスコ日本国総領事館、日本学術振興会(JSPS)、JETRO サンフランシスコ

後援: Sughrue Mion PLLC、Sony Electronics Inc.、JBC (Japan Bio Community)

JCCNC (Japan Chamber of Commerce of Northern California)

JSNC (Japan Society of Northern California)

JTPA (Japan Technology Professional Association)

Keizai Society

SVJEN (Silicon Valley Japanese Entrepreneur Network)

SVMF (Silicon Valley Multimedia Forum)

「JUNBA 2008」では、国際産学官連携に関するサミット、シンポジウム、テクノロジーフェアを開催いたします。

第一部の「JUNBA サミット」では、国際的産学官連携を推進するためのサミット参加大学の全学的国際戦略について幅広く議論していただきます。大学の知的財産は特許だけではなく大学が保持している全大学力、たとえば、組織や施設、質の高い人材、豊富なネットワーク、世界をリードできる研究モデルと手法、伝統ある学風、などがあると考えられます。このサミットでは、このように知的財産を広義にとらえた上で、産学官連携を全学的に効率良く行うためには、どのような戦略の下にこれら知的財産を活用していくのか、大学本来の使命である教育と研究の基本とどう関連付けていくのか、さらに、実際的な各大学の起業の実績と今後の見通しなど、2025 年をターゲットにした各大学の国際的産学官連携戦略について議論をして頂きたいと考えています。

第二部の「JUNBA 国際産学官連携シンポジウム」では、各界のオピニオンリーダーの方々に国際産学官連携に関するご講演を頂きます。特別講演に続き、日本文部科学省、米国大学および米国企業の代表の方よりそれぞれの産学官連携についての考えを語って頂く予定です。また、続いて行われるレセプションでは、米国の企業や大学及び地方自治体から多くの担当役員の参加も予定されていますので、米国での産学官連携ネットワークを広げるよい機会になると思います。

翌日 11 日の第三部「JUNBA 国際産学官連携テクノロジーフェア」では、産学官連携を念頭に置いて、各大学が紹介したい技術の発表を行います。並行して各大学のブース展示を行い技術発表のフォローアップを予定しています。

1 月 9 日(水) 18:00—19:30 日米学術交流会 (Invitation Only) 在サンフランシスコ日本国総領事公邸

1月10日(木) 会場:Hyatt Regency Santa Clara

8:30-12:00 「JUNBA 国際産学官連携サミット」

(JUNBA 会員大学等(*)による会合、JUNBA2008 参加大学関係者のみ傍聴できます) in Japanese

(*)JUNBA 会員大学等:東北大学、東京理科大学、横浜市立大学、大阪大学、九州大学、鹿児島大学、
日本学術振興会サンフランシスコ研究連絡センターの7機関

司会:竹田誠之 JUNBA 副会長 / JSPS サンフランシスコ研究連絡センター長

08:30 - 08:35 谷本親伯 JUNBA 会長挨拶(5分)

08:35 - 08:40 小野元之 JSPS 理事長挨拶(5分)

08:40 - 08:45 村永祐司 JETRO サンフランシスコセンター所長(5分)

JUNBA メンバー大学のプレゼンテーション(五十音順)

大阪大学、鹿児島大学、九州大学、東京理科大学、東北大学、横浜市立大学

司会:井手祐二 JUNBA 理事

11:00 - 12:00 総括討議

コメンテーター Prof. Richard Dasher, Stanford University

Dr. Akiko Futamura, CEO InfiteBio

Mr. Hiroyuki Masumoto, CEO B-Bridge International, Inc.

Mr. Steve Isao Matsuura, Board of Directors, Bank of West

14:00-17:00 「JUNBA 国際産学官連携シンポジウム」 in English

司会:西村俊彦 JUNBA 理事

14:00 - 14:03 谷本親伯 JUNBA 会長挨拶(3分)

14:03 - 14:10 長嶺安政 在サンフランシスコ日本国総領事ご挨拶(7分)

14:10 - 14:40 基調講演「Bridging the Knowledge Creation and the Socio-Economic Value」

柘植綾夫 芝浦工業大学学長、日本学術会議会員、元総合科学技術会議議員(30分)

14:40 - 14:55 講演「Science and Technology Policy and Cooperative Research in Japan」

田口康 文部科学省研究振興局研究環境・産業連携課長(15分)

14:55 - 15:15 講演「The US Technology Transfer Scene: A view from California.」

William Tucker, Executive Director,

Office of Technology Transfer (OTT),

University of California Office of the President (UCOP) (20分)

司会:長谷川泰 JUNBA 理事

15:30 - 16:00 講演「Collaborative Landscape for Academia-Industry Relationship in US」

西義雄 JUNBA Advisory Board/Stanford University 教授(30分)

16:00 - 16:30 講演「University Licensing strategy to Industry. Difference between
universities and private sectors.」

Samdeep Agarwal, TESSERA, inc.(30分)

16:30 - 17:00 講演「New IP Strategies for Industry and Academia in Light of
Significant Legislative, Administrative and Judicial Developments」

Alan Kasper 弁護士 SUGHRUE MION, PLLC (30分)

司会:井手祐二 JUNBA 理事

18:00 - 20:00 レセプション

1月11日(金)「JUNBA テクノロジー・フェア」

Moderator: Masato Matsuo, JUNBA Board Member

Tohoku University、The University of Tokyo、Tokyo Institute of Technology、Osaka University

Tokyo University of Agriculture and Technology、Hokkaido University、Kyoto University

Kyushu University、Tokyo University of Science、Ritsumeikan University、Kagoshima University

Nara Institute of Science and Technology、Yokohama City University

6:30 PM - 9:00 PM Reception